



令和8年度 大館市立花岡小学校

学校評価書（前期・年度）

A 今年度の重点

学校の教育目標	：みんなとの幸せを願う、自立した子どもを育てる
目指す子どもの姿	Ⅰ チャレンジングな子 Ⅱ 心身共に健やかな子 Ⅲ 人を大切にする子 Ⅳ 学びを楽しみ、広げ、深める子
目指す学校の姿	：Ⅴ 保護者、地域が応援したくなる学校

B 本年度の重点目標

◎ 課題対応能力の育成 ◎基礎・基本の定着

C 学校経営の特徴

◇課題対応能力を育成する学校行事、児童会活動(チャレンジ活動) ◇明るく楽しい学級づくり ◇チャレンジ授業とベーシック授業 ◇開かれた学校づくり



【(株)大森土木とタイアップした
クリーンアップ活動】



【チャレンジ授業での学び合い】



【地域の方々に楽しんでもらった「花小祭り～2026編～」】



【地域を盛り上げるために活動するコウライザーの
講話や秋田工営株式会社との交流から働くことの
意義を学んだ夢事業】

ゆうき・つながり・チャレンジ

Brave・Connection・Challenge

D 評価	アンケート回答者 保護者20名、 児童4、5、6年生18名、 教職員9名			
自己評価A と外部評価 の評価区分	きわめて良好	自己評価B の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

Ⅰ チャレンジングな子どもの育成				
挑戦意欲をもち、連携する力と創造性を発揮しながら主体的に活動する子どもを育てている。		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	良好	良好	保護者、児童、職員、それぞれの評価がよいということは、みんなが実感しているということであろう。児童自身のヒアリングでも「学校のよさは、チャレンジすることです。」と答えており、すばらしい。教職員のヒアリングでも、チャレンジに手応えをもち、自信をもっていることが伝わってきた。今後、低学年にも、段階をおって教えていく必要があると思うのでお願いしたい。
	年度			
自己評価の改善概要と	【前期（→年度）】			
	保護者・児童・職員のアンケート全てで、チャレンジングな子どもの育成に関する項目（項目1・2）の評価平均値が昨年度よりもアップしていた。今年度も、子どもが「やってみたい!」と提案した活動を取り入れたことで、各委員会の活動が昨年度よりもさらに活性化したことにより、児童が充実感や達成感を得られたことが要因の一つであると考えられる。また、学年の発達段階に応じたチャレンジ活動も、前年度までのよさを引継ぎつつ、保護者や地域の方の協力を得ながら活発に行われており、その点を保護者にも評価していただけたと感じている。 2学期以降は、活動の目的を教員と児童で共有することで、児童が目的意識をもち、活動に取り組むことができるようにしたい。そうすることで、更に主体性を高めることが期待できる。また、相手意識をもって活動を進めることにより、相手に応じた接し方や振る舞い方が身に付いたり、声のボリュームをアップさせ、伝わりやすく発言したりする力が高まるだろうと考える。			
	【年度（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
Ⅰ チャレンジ精神の高揚	(1) チャレンジ活動（学年・全校）の推進と充実	課題対応能力育成のための各学年及び全校の実践	4	
	(2)創造性・連携する力の向上	創造性・連帯感を向上させる各種ミーティング 学級の係・委員会活動等の児童会活動 SDGsへの取組		

【Ⅰに関するデータ】

○いろいろな活動に、助け合い、支え合いながらチャレンジしているか。

○いろいろな行事で、充実感を味わい、自分のよさを発揮できている。

令和8年度（平均値 保護者4.75 児童4.33 教員4.33）

令和7年度（平均値 保護者4.68 児童4.19 教員4.00）

【3年 アルミ缶回収活動】

【6年生が低学年に伝授するよさこいソーラン】

【3・4年生 活動を振り返るミーティング】

【全校チャレンジ 5年生が花小祭り～2026編～クイズのコーナーを担当】

【4年生企画・運営のチャレンジ活動 大森土木と合同のクリーンアップ】

【運動会「よさこいソーラン」】

Ⅱ 心身共に健やかな子どもの育成

健康な心と体をつくろうとするとともに、自他の心や人間関係等を大切に育んでいる。		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	良好	良好	外部人材を非常にうまく活用できている。写真からも具体的実践が伝わってきた。マラソンについては、保護者、児童は実感ができていないと思われる。評価説明から、児童が「もっとやりたい」という思いを持っているようなので、気持ちがあるなら（クマ対策も施しながら）続けて欲しい。
	年度			

自己評価の改善策と	【前期（→年度）】
	生活習慣向上に向けて、学校医による歯磨き指導教室や北給食センターによる給食訪問を行い、児童への意識付けを行った。また、児童委員会による歯磨き指導を行い、児童が主体的に生活習慣向上に取り組むこともできている。さらに、家庭と連携して生活習慣指導を勧めるため、保健便りを活用して、感染症予防や健康診断の大切さを保護者に伝えてきた。2学期以降も継続していきたい。また、2学期には北給食センターの栄養士さんを招いて学級ごとに食に関する指導を行ったり、学校医を招いて6年生へ薬物乱用防止教室を行ったりする。体力づくりのために、「マラソントイム」に力を入れた。児童委員会が主体となり、6月末まで行った。学期末にはマラソン運動の表彰式を行い、全校児童へ賞状を贈呈した。新体力テストは、縦割り班ごとに活動した。全校の応援もあり、記録が向上した児童が多かった。全校一斉に行ったシャトルランでは全校の平均回数が昨年度より3回ほど向上した。秋ごろにはマラソンの記録会を設定し、記録更新を目指して、さらなる体力向上に取り組みたい。また、昨年度同様「全校〇〇大会」を企画し、楽しみながら体力づくりに取り組めるようにしたい。
	【年度（→次年度）】

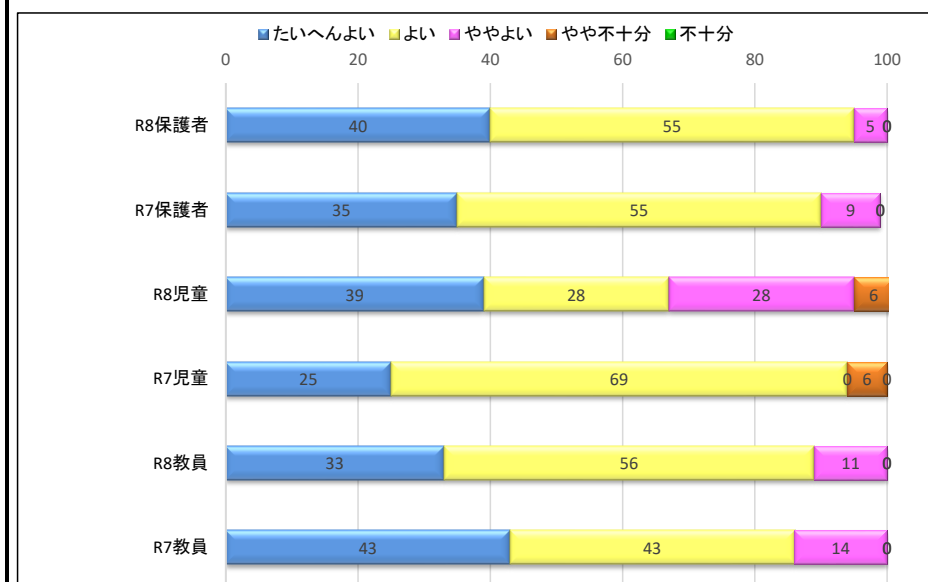
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
2 心身の健康づくり	(3) 生活習慣向上に向けた実践	生活習慣指導、食育指導、保健・健康教育等	4	
	(4) 継続的な体力づくりの取組と体力の向上	体力テスト・なわとび運動等多様な遊びの奨励と環境整備		

【2に関するデータ】

○生活習慣向上に向けた取組を行っているか。

令和8年度（平均値 保護者4.35 児童4.00 教員4.22）

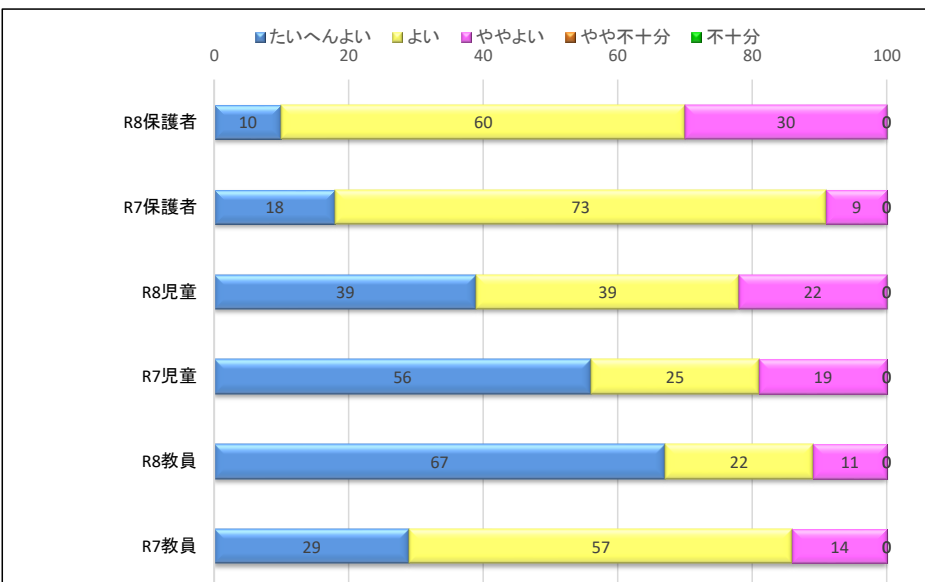
令和7年度（平均値 保護者4.27 児童4.13 教員4.29）



○継続的な体力づくりに務めているか。

令和8年度（平均値 保護者3.80 児童4.17 教員4.56）

令和7年度（平均値 保護者4.09 児童4.38 教員4.14）



【スポーツ・健康委員会の企画による「マラソンタイム」】



【学校医による歯磨き指導教室】



【北給食センターによる給食訪問】



【縦割り班での体力テスト】



【スポーツ・健康委員会による歯磨き指導】



【スポーツ・健康委員会によるマラソン運動の表彰】

Ⅲ 人を大切にする子どもの育成

規範意識をもって、自他の心や人間関係を大切に する人間尊重の世親を 育てている。		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	良好	良好	上級生が下級生の面倒をよくみている。そして、下級生は上級生へのあこがれをもっている。好循環であり、その様子が授業の中にもたくさん見られた。教師の言葉掛けが温かく、子どもが大切にされている。5年生は最上級生に向かっていくプレッシャーがあると思うが、認め、そして伸ばしてあげたい。
	年度			

自己
学
校
評
価
改
善
の
概
要
と

【前期（→年度）】

日頃から掃除や給食当番など、様々な活動を全校で行っており、上学年が下学年の面倒を見ている。運動会や全校チャレンジ活動などでの上学年の活躍を見て、下学年は上学年の児童のことを憧れとしており、良好な人間関係を築いていることがうかがえる。休み時間は学年関係なく、一緒に楽しく遊ぶ様子も見られる。児童会や各学級では、一人一人に活躍できる場があり、児童の思いを反映させた活動が盛んに行われている。人数が少ない中で、全校のために自分達ができることを考えることができる児童が育ってきている。運営委員会が企画した「ほめほめ青空バルーン」では、全校児童にカードを配付し、頑張っている友達や、よいことをした友達へのメッセージを書いた。集めたカードは毎日全校児童が必ず通る廊下に掲示している。2学期には、学習発表会や鳥潟会館ツアーなどの大きな行事も控えている。一人一人の活躍の場を保証し、児童の思いを取り入れた児童会活動や学級活動を行っていきたい。

【年度（→次年度）】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 人間尊重の精神	(5) 集団の一員としての自覚ある言動	縦割り班活動・委員会活動・学校行事等での活動	4	
	(6) 明るさ・活力・自他を大切に する学級づくり	学級指導・学級活動の充実		

【3に関するデータ】

○集団の一員として自覚ある言動をしているか。

令和8年度（平均値 保護者4.60 児童4.67 教員4.11）

令和7年度（平均値 保護者4.32 児童4.50 教員4.14）

○明るく活力ある学級づくりが行われているか。

令和8年度（平均値 保護者4.25 児童4.61 教員4.00）

令和7年度（平均値 保護者4.32 児童4.56 教員3.71）

対象	たいへんよい	よい	ややよい	やや不十分	不十分
R8保護者	65	30	5	0	0
R7保護者	45	41	14	0	0
R8児童	78	11	11	0	0
R7児童	56	38	6	0	0
R8教員	22	67	11	0	0
R7教員	14	86	0	0	0

対象	たいへんよい	よい	ややよい	やや不十分	不十分
R8保護者	40	45	15	0	0
R7保護者	41	50	9	0	0
R8児童	72	17	11	0	0
R7児童	69	19	13	0	0
R8教員	25	50	25	0	0
R7教員	14	43	43	0	0

【6年生から低学年へ よさこいソーランの伝授】

【矢立小との交流授業】

【6年 協力しながら楽しんだ修学旅行】

【子どもサミット代表者会議で発表するサミット委員】

【縦割り班での体カテスト】

【花壇の苗植え作業】

Ⅳ 学びを楽しみ、広げ深める子どもの育成

内発的動機付けに支えられた学びを楽しむとともに、互いの考えを共有したり多角的に考えたりするなど、学びを深める指導を行っている。		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	おおむね良好	のびしろがある。学び合いについては、研究主任も迷いながら進めているところである。全体で共通理解し、方向性を定めて欲しい。子どもの声を拾い上げながら変更を加えていくことについては大事にして、これからも継続して欲しい。児童のヒアリングから、「漢字の書き取りが苦手」という声があった。世の中では、書く機会が減っている。漢字はやはり「書ける」までが必要なのかについて、学校でも話し合い、対策を立てて欲しい。また、児童のヒアリングから「宿題を減らして欲しい」という要望があったが、これについてはなかなか難しいところであると思うが、妥当性を検討していただきたい。
	年度			
自己 学 校 評 価 の 改 善 の 概 要 と	【前期（→年度）】 「学習の約束」「学び方」の徹底については、年度初めはもちろん月初めにも全校で確認をすることで定着を図った。ベーシック授業については、今年度赴任した職員も含め、全職員が自信をもって授業を展開できるように、早い段階で複数の授業参観を通じて進め方について理解を深めた。チャレンジ授業については、1学期はベーシック授業を基本とし、児童の実態に合わせて試行してきた。2学期からは単元構想をしっかりと行い、必要な場面でチャレンジ授業を着実に展開できるようにしていく。読書活動については、今年度も花矢図書館やミラクルバナナさんによる読み聞かせや、「おすすめの本」を隔月で花矢図書館から提供いただき、児童の読書意欲を喚起してきた。しかし、アンケートでは「不十分」と回答した児童がいたことから、2学期は読書タイムの確保に一層努めるとともに、図書委員会と連携して「おすすめの本」を紹介したり、魅力ある読書運動を展開したりして読書活動の充実を図る。			
	【年度（→次年度）】			

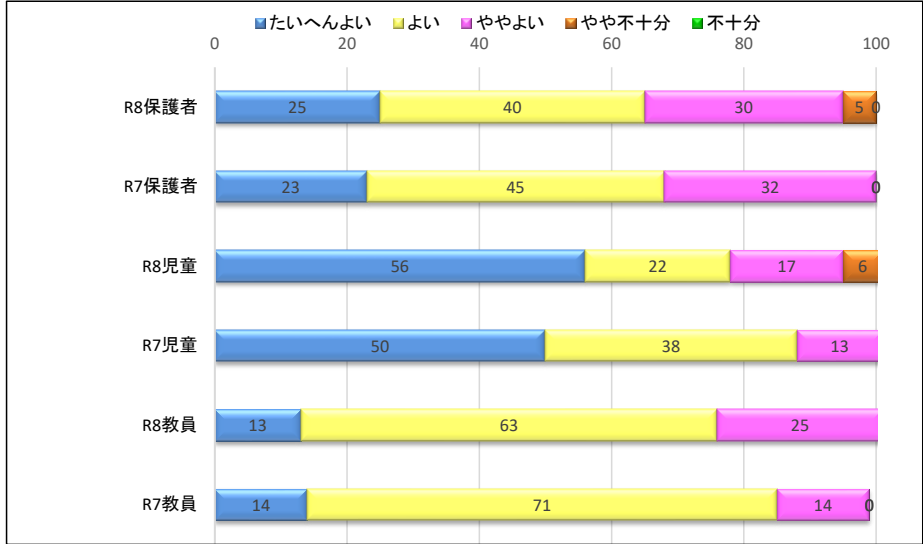
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 基礎・基本の定着	（7）基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」「学び方」の徹底	3	
	（8）基礎・基本の徹底と学習内容の定着	基礎・基本を徹底する授業（ベーシック授業）		
5 学びの多面化・深化	（9）多様な学びの保障	主体的に学び合う授業（チャレンジ授業）	3	
	（10）読書活動の充実	図書館まつり、各種読み聞かせ、読書運動等		

【4に関するデータ】

○基本的な学習習慣が定着しているか。

令和8年度（平均値 保護者3.85 児童4.28 教員3.88）

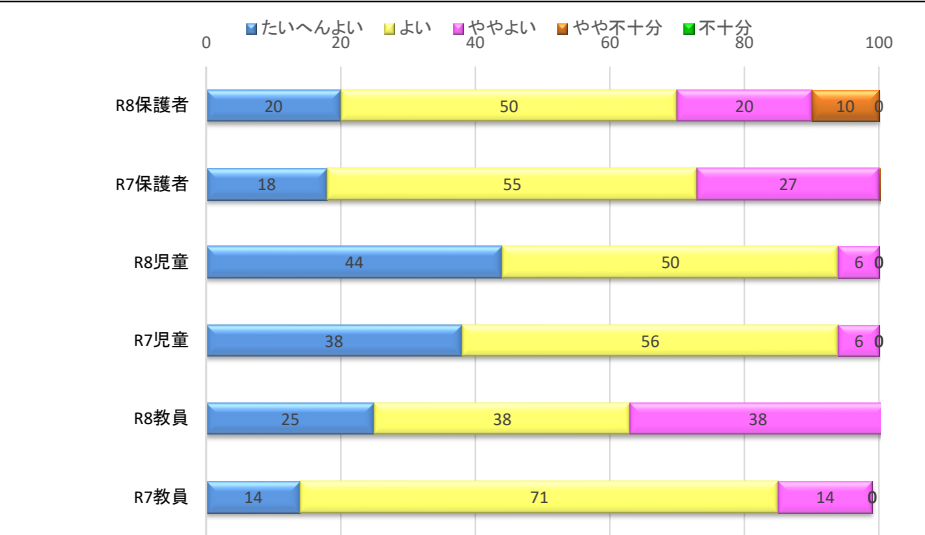
令和7年度（平均値 保護者3.91 児童4.38 教員4.00）



○計算、漢字、読み書きなど、学習の基本が身に付いているか。

令和8年度（平均値 保護者3.80 児童4.39 教員3.88）

令和7年度（平均値 保護者3.91 児童4.31 教員4.00）

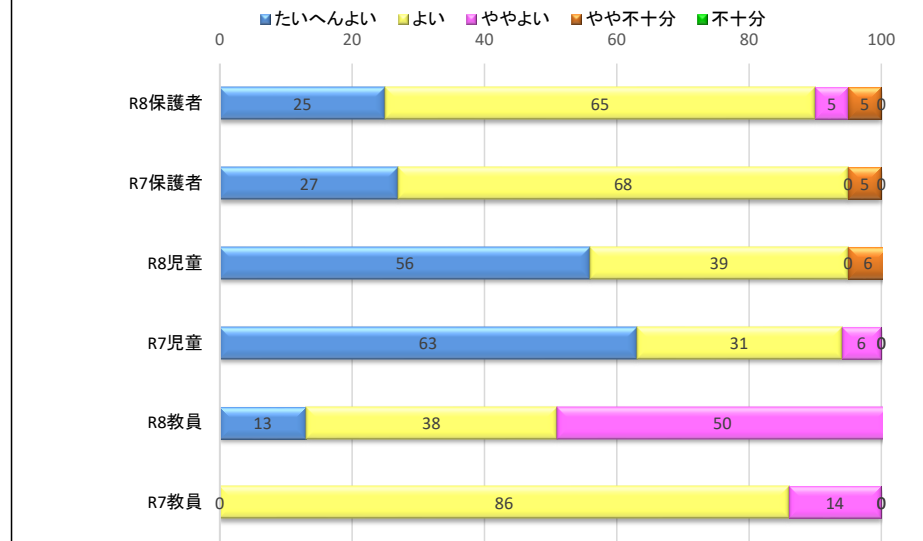


【5に関するデータ】

○学び合いの充実が図られているか。

令和8年度（平均値 保護者4.10 児童4.44 教員3.63）

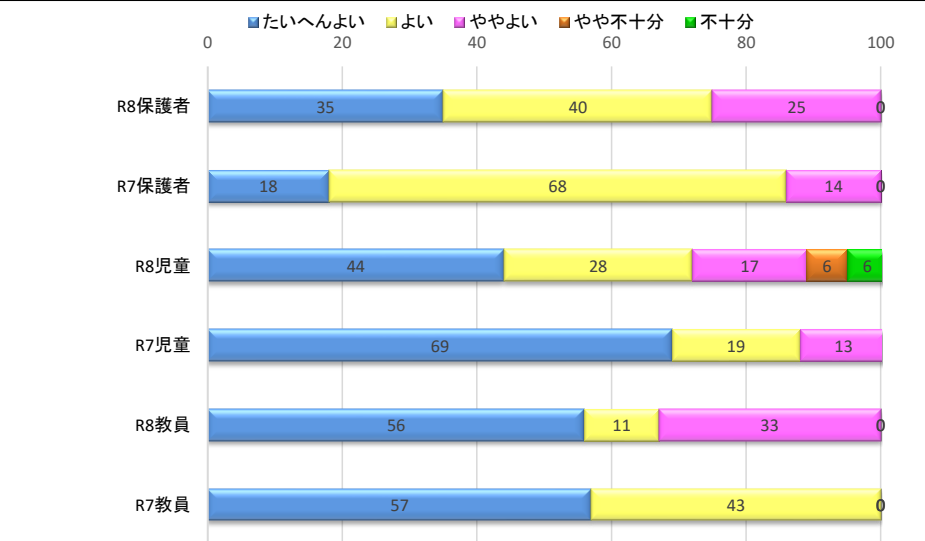
令和7年度（平均値 保護者4.18 児童4.56 教員3.86）



○読書活動が推進されているか。

令和8年度（平均値 保護者4.10 児童4.00 教員4.22）

令和7年度（平均値 保護者4.05 児童4.56 教員4.57）



Ⅴ 保護者・地域との連携				
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	良好	良好	保護者のヒアリングでも、不満や要望はなかった。先生達と距離が近く、仲良くやっているということであった。totoruでの情報も有り難い。鳥潟会館ツアーや学習発表会などについても、totoru で流して欲しい。これからも、地域の方々にたくさん来ていただき、連携を深めて欲しい。
	年度			
自己評価の概要と改善策	【前期（→年度）】 今年度も、地域の方々には、地元企業との交流やクラブ活動、全校チャレンジへのご参加等、子どもたちの活動にたくさんのお力添えをいただいております。感謝したい。「地域の方々に元気を与えたい」というめあてのもと6年生が企画し、全校で取り組んだ全校チャレンジ活動「花小祭り～2026編～」では、保護者だけでなく高齢者の方々もたくさんご来校くださり、ポッチャやユニカール、昔遊びや花岡クイズで楽しんでいただいた。「子どもたちと一緒に笑っているだけで、元気になる」という感想もいただき、子どもたちの達成感が感じられた。また、子どもたちの活動の様子をブログやホームページで紹介したところ、保護者アンケートでは、「子どもたちの様子が分かり、見ている方も楽しかった」という感想をいただいた。また、熊の出没情報や不審者情報については、すぐにtotoruのメールで情報を流し、危機意識の喚起につなげることができた。2学期は、全校で行う職業体験や「鳥潟会館ツアー」も行われる。児童数の減少により、持続可能な進め方を考えながら進めていきたい。今後も、地域の実情など考慮しながら、地域と関わる活動を大事にしていきたい。			
	【年度（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 情報の受発信	(11)各種たより等の充実と学校開放	学校報・学年だより・totoru・ブログ等での発信 HPの定期的な更新 学校開放や保護者アンケートでの受信	4	
7 地域との連携	(12)地域に対する愛着心や誇りを高める実践	学習・クラブでの人材活用 花小まつり～2026編～ 花岡をきれいに「ハッピーアップ大作戦！」 花岡ピカキラ鳥潟会館ツアー！ 地域探検、職場体験 「幼保小中」間での連携	4	

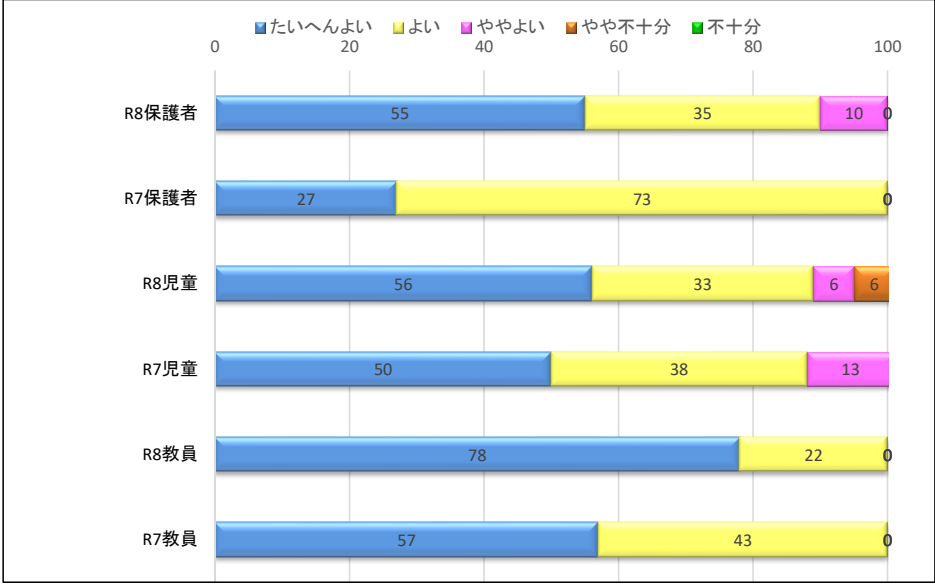
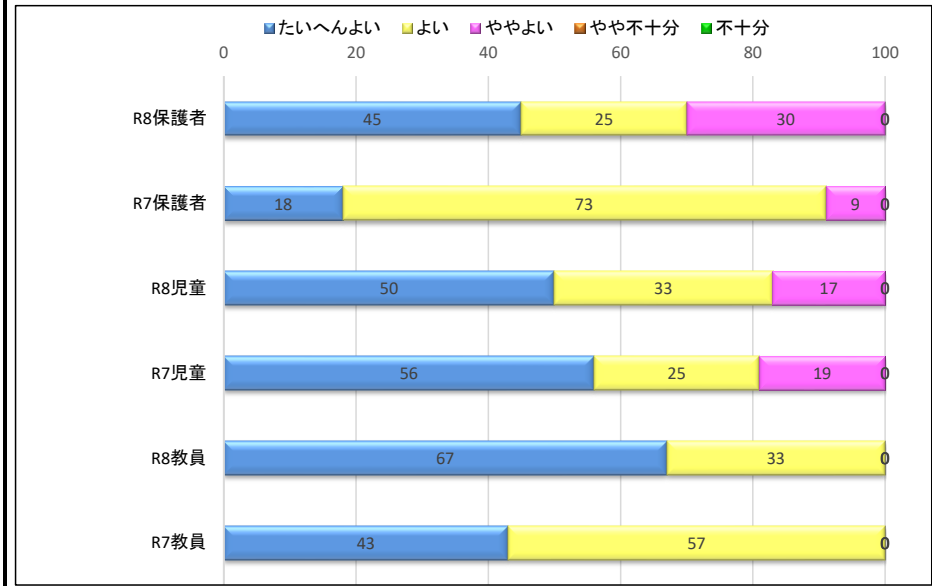
【6に関するデータ】

○学校報、学年だより、各種のおたよりは充実しているか。

令和8年度（平均値 保護者4.15 児童4.33 教員4.67）
令和7年度（平均値 保護者4.09 児童4.38 教員4.43）

○地域人材の活用、愛着心や誇りを高める実践がなされているか。

令和8年度（平均値 保護者4.45 児童4.39 教員4.78）
令和7年度（平均値 保護者4.27 児童4.38 教員4.57）



【秋田工営株式会社へセタ飾り渡し】



【地域の方を先生にクラブ活動】



【地域のヒーロ「コウライザー」の講話】



【秋田工営株式会社によるドローンの操作体験】



【民生児童委員との公民館窓拭き作業】

